



Club Office
京都YMCA本館
〒604 中京区三条柳馬場角
TEL(075)231-4388



10

NO. 356

2009年10月号

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標 語

国 際 会 長 主 題 "The Power of One" 「一つとなる力」
ア ジ ア 会 長 主 題 "The Power of One" 「一つとなる力」
スローガン Dreaming Asia Loving Asia 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事 鈴木誠也 (神戸ポートクラブ)
主 題 「すべてのいのちを大切に」
"Love & Care for All the Living Things"
「いのち・平和・環境」 - Life Peace Environment-

西日本区強調月間 B・F

切手整理作業を通してクラブ内でのコミュニケーションを！

今月の聖句

「ドラクメ銀貨を十枚持っている女がいて、その一枚を無くしたとすれば、ともし火をつけ、家を掃き、見つけるまで念を入れて捜さないだろうか。そして、見つけたら、友達や近所の女たちを呼び集めて、『無くした銀貨を見つけましたから、一緒に喜んでください』と言うであろう。言っておくが、このように、一人の罪人が悔い改めれば、神の天使たちの間に喜びがある。」
ルカによる福音書第15章8-9節

第30代
クラブ
会長標語

プロジェクトW
総集編
夢をあきらめないで！

会 長 牧野 万里子
副会長 安平 知史
書 記 河合 久美子・市橋 清太郎
会 計 島田 博司・塚本 勝巳

「30周年記念事業を通して思うこと」

EMC 委員 立山 隆一



30周年を迎えたウエストクラブ、来年の5月5日に開催する記念例会に向けての野田実行委員長の下、具体的な行動計画が出来上がりメンバー全員が担当ごとに動きはじめました。
今期、私は30周年事業の実行委員とEMC委員として牧野期をサポートしています。前回のEMC委員会の中で一泊例会の内容を話している時に、角谷ワイズから30周年に對しての喜怒哀楽を切り口に話を進めてはどうですか、という提案が出されました。早速その場で30周年に對しての喜怒哀楽を切り口に参加者全員の思っている事を聞かせてもらうことが出来ました。当り前のことではあるがクラブ歴・年齢よって30周年に對しての想いは違う。それと今まで各メンバーの想いを聞いている、自分の想いを話していると思っていたがまだまだ聞き足りないし、話し足りないかと再確認をさせていただきました。この体験から以前、野田ワイズの実行委員長選出、30周年会場決定の会議で紛糾した事などを思い出せば、もっと時間を掛けてメンバー同士の話し合いで行うべきところ、先を焦るあまりに早急に事を運ぼうとした結果で起

きたように思います。
今後、30周年記念例会を経て35周年、40周年を目標にクラブとして進んでゆく訳ですが、そこで私が今後クラブにとって大切だと思うことは、やはりメンバー同士の話し合いの場、活動の場を時間の許す限り多く持ち、メンバー同士の理解を深めることだと思います。
今ウエストクラブは新しいメンバーも増え、クラブ創立メンバー・中堅メンバー・新人メンバーとバランスよく構成されてきましたが、その反面裾野が広がり、クラブに對しての考え・想い・クラブへのかかわり方も大きく違っています。
その違いを少しでも埋め、メンバー同士の理解を深める良い機会が、今訪れています。
30周年記念事業に對し一人ひとりが、今出来る最大限の力を発揮し関わることにより感動を他人と分かち合う体験ができて、30周年以降のウエストクラブの力となるように思います。
全員で30周年を楽しみ、そして、その楽しみで得た力でメンバー同士の理解を深め、焦らずじっくり時間を掛けて35周年・40周年の新たな目標に向かい進んで行きましょう。

10月会員数

会 員 26名
功労会員2名
広義会員1名
特別会 1名
合計 30名

9月例会出席者

第一例会

メ ン 22名
メネット 2名
コメット 0名
ゲスト 0名
ビジター 0名
合計 24名

第二例会

メ ン 22名
メネット 7名
コメット 0名
ゲスト 1名
ビジター 0名
合計 30名

出席率

100%
メイアップナシ
前月出席率
修正なし

ニコニコ

9月第二例会

18,010円
累計43,338円

ファンド

ポテトファンド
たんかんファンド
コーヒーファンド
シャンプーファンド
みずなすファンド
み そファンド
合 計

10,160円
1,000円
11,160円

9月10日(木)三条YMCAにて、島田会計の司会により、9月度のオープン役員会が開催されました。今月も多く報告・協議事項があり、各担当者から発言がなされました。報告事項では、西山の竹林整備につき、高野ワイズの熱い想いを満載した資料が配布され、12日の初ワークにも若手メンバーが参加するとのことで、たいへん前向きな取組みの姿勢が感じられました。協議事項では、メネット例会につき、鈴木特別メネットより、例会の段取りや役割分担などにつき話がなされたほか、ポテトファンドの配送方法につき、市橋書記より新たな方式の提案がなされ、メンバー全員により、活発な議論が展開されました。

今回は、メネット2名に、新入会員の岩本伸介ワイズの出席も得て、総勢23名、スクール形式に組んだYの2階の205号室がほぼ満席となる状況で、たいへん活気溢れる役員会となりました。

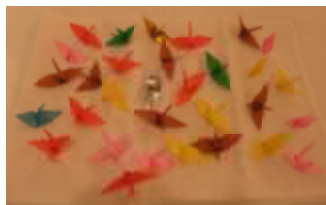
出席者：(役員)牧野、安平、山下、河合、島田、塚本、市橋、岩本、桂(ファンド`星野委員長の代行)、森田

(他メンバー)大西、角谷、立山、中原、中村、野田、

メネット便り



第2例会 メネット例会 野 田 君 子



9月24日(木)リーガロイヤルホテルで山下メネット連絡員と牧野会長の開会点鐘でメネット例会が始まりました。司会や例会進行の役割は

すべてメネットが受け持ちました。

ゲストに京都部メネット事業主査の西村寛子様をお迎えしてメネットの意識の持ち方・役目など、そして来年行われます京都部メネット会メネットアワー企画の熱い思いを少ない時間の中でお話いただきました。

次に20年前の京都国際大会の様子をビデオを見ながら森田ワイズに説明をしていただきました。映像に残っているとやっぱりその時の雰囲気が見て取れて大変よかったと思います。(皆さんお若かった)

次に、来年横浜で開催される国際大会で使う千羽鶴をメンバー全員で折っていただきました。大きな手で不器用に折ってられるメンもおられましたが、折り紙は久しぶりの体験ではなかったでしょうか。ウエストのメネットが国際大会に陰ながら応援している場面を垣間見ていただけたと思います。

最初から最後までメネットに例会の企画・進行の機会を与えてくださいました、会長はじめメンの皆様本当にありがとうございました。ニコニコ献金もメネット会計にいただき心よりお礼申し上げます。

参加メネット

森田・鈴木・胡内・山下・立山・福田・野田

9月6日(日)好天の下、恒例のリトセンワーク。

9時半にYの主事から挨拶と諸注意事項、Yサ主査からのコメントの後、作業開始。草刈り器のエンジン音と排気臭と刈った草の臭いが、ワイズメンの春と秋の風物詩であることに思い致されます。

我々ウエストは今回も、宿泊棟の掃除がワーク。トイレの掃除、ガラス戸のガラス拭き、暖炉周りの拭き掃除、玄関の拭き掃除とタイル洗い、板の間の拭き掃除など、掃除の基本は雑巾での水拭きであることを自ら肝に命じる。途中、休憩を挟み早や12時前には昼食に。肉系、野菜系、油脂系を網羅するカレーは、ご飯とおかずを一皿に盛ることもあって、一斉の大量供給には持って来いの、実に合理的な食事。この食事当番をめぐって議論があるとの事、少し寂しく思われます。こうして2時には作業完了、連絡主事に報告、確認を得て解散に。

ウエストはリトセンをワークの対象にしていますが、かつてのワークはサバエが主流だった経緯から、是非一度そちらのワークも計画してはどうですか。当時と比べるとアクセスは格段に良くなっています。

何にしてもワイズメンは、机上の奉仕だけでなく、実

働のワークがある事、これをメンバーの自信の源として、誇りを持ちたいものです。参加数が少し寂しかったですね。出席者 牧野、大西、河合、安平、加藤、中村



中西部部会報告

中 原 一 晃

9月19日JR天王寺駅に降り立ち北東へ200m。大きなビルの大阪南YMCA。奈良クラブの浜田ワイズが部長とあって、これは参加しない訳にはいきません。10年前ウエストホームページ立ち上げ時には多大なお世話になりました。今まで何気なく聞いていた部会のみなさんの挨拶も次年度の事を思うと各主任の言葉もしっかり耳に入ります。理事、部長、主任の挨拶の1部も終わり、2部は「人形劇団ぶくぶく」の催し、ブラックライトに照らされた手作りの影絵は童謡に合わせ楽しく引き込まれ、見取れてしまいました。3部の懇親会とアピールタイムはお茶とお菓子で盛り上げました。参加費の安いお金をかけない部会でしたが、壇上に上げられ、話されるメンバーの一人一人が会を盛り上げようとなさる姿勢、上品なワイズメンが集いみんなで支えている部という一体感の空気が随所に出た部会でした。

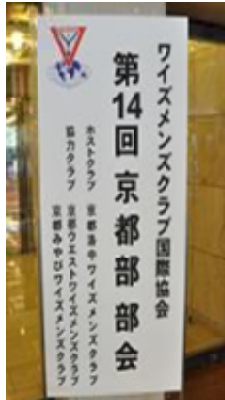
第14回京都部部会

9月13日(日) 京都全日空ホテル

金澤典子

京都洛中クラブがホストのもと西日本区京都部部会が全日空ホテルで行われました。総勢468名参加です。わがウエスト、みやび両クラブとで部会の協力をさせていただきました。

1時過ぎから集合し受付や場内の準備で時間がたち、3時から一部の式典が始まりました。各会長のバナーセレモニーや門川市長を始めワイズ役員方々のご挨拶、ご紹介がありました。



二部では拉致被害者家族連絡会の横田滋・早紀江様のお話を聴かせていただきました。私もテレビで何度か聴いてはいましたが、本当に理不尽で悲しい出来事だと痛感しました。自分の近くにもそんな事が起こる可能性もあるのだなあと。恐ろしく思います。どうかお二人が恵さんと会える迄お元気でいられる事をお祈りいたします。

三部は懇親会です。美味しい料理とお酒を堪能しながら、杉山千絵&串田洋子氏によるピアノトリオ、



CapoDolceによるハーモニーは素敵でした。ダンサーとしては踊りたい曲の数々でした。

宴も終盤、各クラブのアピールタイム、わがウエストも30周年記念

気合を入れるメンバー

のアピール。念入りに掛け声の練習のもと実行委員長野田ワイズのアピール 牧野会長のご挨拶&全員の掛け声。きっと皆さんに伝わったはずです。

最後はロビーで皆様のお見送り。楽しくも長い1日でした。参加された皆様、本当にお疲れ様でした。



ウエスト30周年例会アピール

ワイズ必携とワイズ読本の小窓

小堀 憲助「奉仕クラブの基本的問題について」を読んで 山下 太郎

非常に質の高い話が展開されていると思います。ただ現実のワイズメンズクラブとはいささか隔たりが大きくなっているように思います。もちろんこの精神で奉仕クラブはあるべきなのかもしれませんが、



まだまだ行き着いていない点が多いのではないのでしょうか。この文章を読んでもっともっと精神的な会話が生まれてくるのが大切なように感じました。精神論があってそこから奉仕活動が行われないと他の奉仕クラブとなら遜色がありません。

YMCAをサポートするといっても残念ながら日本ではYMCAの価値がそれほど高くはないのが現状であり、またキリストの精神が根付いている訳でもありません。そこでワイズメンズクラブの特徴を見出すことは非常に難しい問題です。単に活動をするだけなら他にも大きな組織が沢山ありもっとすばらしい活動を行っているところもあります。

精神的に成熟したクラブを目指すならこの小堀理論にあるような基本を全員がもっと理解するところから始めないとワイズとは何かが、まったく伝わらないでしょう。果たして日本の特に西日本のそして京都の中でそんな動きがあるのでしょうか？この理論を読めば読むほどこういう思いが沸いて来る今日この頃でした。ちょっと辛口ですが感想です。

ワイズ必携を読んで

桂 厚子

白状しますが、いままでに真剣に読んでいませんでした。いい機会だと思って改めてワイズ必携を読みました。その中で、YMCAとワイズのかかわり方と地域奉仕という観点と、いつも問題になる会員増強の、論理的な発見がありました。

ワイズメンにとって、奉仕の対象はYMCAであるといわれていて、何となく据わりの悪い方向に地域奉仕がありました。またある意味では私にとってYMCAは、対極的に位置するもの、または両輪というより2車というべきでしょうか、奉仕が二分化する気がしておりました。

奉仕そのものは、誕生以来社会のニーズをつかむ活動を、奉仕であれ事業であれ率先しているのがまぎれもなく、YMCAであると。この言葉に納得が行きました。社会奉仕のニーズのおもむくところYACAとワイズは同じことしていることになる。YMCAの先に地域奉仕があるということ、思いは同じということで決して反対方向に向いているわけではない。それならば本来もっと同じ色であることを、世の中に知らしめるべきではないのか。YMCAの事業はともかく、行事や活動然り、YMCAのお手伝いではないと思う。行事で使う旗はYMCAとワイズメンズクラブの旗は裏表に染めるか、常に併記したものをクラブも、YMCAも使うようにすればいいと思う。一緒に並べるのは違うのです。ウエストが竹林ワークする時も徳義会の

夏祭りも、両方を表示したものを立てるべきだと思います。

もう一つは会員増強にページが割かれていて、当たり前のことでどんな団体も目指すところと思っていました。なぜ増やさないといけないのか、誰もが知っている、思っている。けど、ただ数字を増やすということではないのですね。声高に叫ぶことではないと。

私たちはまず親睦を、どっぷり論でも言われていますが、**精神性の高いメンバーが必要で、そこから親睦のエネルギーが外に向かって放出されるとき奉仕が生まれる**と。

単純に言えば自分が幸せであれば、他人に手が差し伸べられる。クラブ内での自分が充実していれば、周りに誘いの手が差し伸べられる筈と。まず自分自身が楽しみ、自己啓発をして、他のメンバーの素晴らしさを噛みしめるとき、改めて、良質の人とよく言われますがいい人と出会えば、誘ってしまうものだと思います。

毎日の忙しさだから、仕事に関係しない仲間にもっと会っておしゃべりをし、他では得られないこの喜びを思い知るべきだと思います。だから月に何回も会合があるから負担だ、ではなく、行ける時は万障繰り合わせて、1週間に一回は顔を合わせられる位を楽しみにできれば、まずワイズにどっぷりと言えますよね。自分で決めて入会したのだから、優先順位を上げて、もっと活動に参加しようと思いました。

それから、常に精神性、倫理性が求められているのを改めて感じました。倫理性の裏打ちのある人の輪は、自由競走の世界においても最も強く勝利する。日常においても、またもちろん仕事でも、倫理性を求められています。究極それは宗教に近いものがあると思うのですが、自分の心を励ましたいと思います。

六甲部部会報告

神戸YMCA三宮会館チャペルに於いて

2009.9.12

胡 内 佳志子

牧野会長・森田ワイズと共に参加させて頂きました。その日は大雨で、やはり牧野会長の雨女伝説？は続行しているなぁ～と懐かしく感じた次第です。大田六甲部長の開会宣言の下おごそかに部会が始まり、以前メネット事業に於いて色々とお世話になったメンの方々次々と壇上で事業方針などをお話しされている姿をお見受けし何だか涙が出る程懐かし感動的でした。このような機会を再び与えてくれた主人に感謝です。

さておき、部会第2部では生後半年で未熟児網膜症と診断されながらも、現在声楽家として国内外を問わず各地で演奏活動をされている神戸ご出身の【時田直也】氏の演奏がピアノの弾き語りで始まりました。「歌うことは希望を語ること♪」と感動的な演奏や大変ユニークなエピソード等もお聞かせ頂きながら至福のひと時を過ごさせて頂きました。懇親会でも六甲大田部長の神戸西クラブとは《ペンタゴン》を通じて一層交流を深めていく事などもお話ししながら楽しませて頂きました。有難うございました。



9月12日土曜日の朝、初回の西山竹林ワークが開催されました。朝方まで一時的に強い雨が降り、地面がぬれていたもので、竹林に入っの作業は危険との高野ワイズ(竹工芸会社経営で竹の専門家)のご指導で、ウエストが管理することになる竹林の区域と現状の確認にとどまりました。いろいろご指導頂いているNPO法人「竹の学校」代表である杉谷氏の計らいで京都新聞の取材を呼んで頂いていたので、記念すべき初回の作業をアピールしたかったのですが、今回は竹の学校が作られた「水禽窟」が取材目的だったため果たせず残念でした。

その後、場所を高野ワイズの会社会議室に移し、ミーティングを行いました。ウエストが管理する土地はテニスコート3面分くらいの広さで、その2/3が荒れた竹林、残りが雑草の生い茂る道路に面した空き地です。まずは、この雑草を刈り取り、ワーク時の駐車スペースの確保が必要のようです。次に道具小屋を作り、作業に使う鋸などの道具類を保管できるようにすることになりました。

竹林の方は、まずは竹の間伐です。高野ワイズがざっと見られたところ、500~600本は間伐が必要のようです。数を聞くと大変そうですが、木の間伐と違い、竹の場合は1本切ると、鋸でやっても10分ほどで切れます。地道にやっていきましょう。間伐する竹はたくさんありますので、体験ボランティアを受け入れられる環境をまず整えて、徳義会の子供たちや、地域の方、みなさんの周りの方々をお誘いして、環境の事、京都ウエストの事を知って頂ける場所に育てて行きたいものです。

今回のワークは10月の第二土曜日の午前です。これから毎月第二土曜日の午前をワークの日とします。まずはメンバー各人が1回は参加して、体験ボランティアを募った際の「指導員」となれるようご協力お願いします。初回ワークの参加者は竹林世話役の高野・笹山・森田ワイズ、岩本敬子地域奉仕・環境委員長、大西・塚本・福田・牧野・市橋ワイズと市橋コメットでした。

竹林ワーク1年の計

代表世話人 高野 忠 男

1. 10月10日 作業

- (1) 伐竹チーム 2組 ヘルメット着用
Aチーム3名+高野(安全確認と指導にあたる)
Bチーム3名+東前()
- (2) 草刈チーム 草刈機3台を使用。事前に近隣住宅に対し10月から毎月第2土曜日9:00~11:30草刈。伐竹の竹林ワークを継続する旨の挨拶状を配る。

伐竹担当	高野(総責任者)	東前
草刈担当	笹山(責任者)	松本
連絡本部	森田(責任者)	牧野・岩本
作務リーダー	市橋(責任者)	数名
記録担当	市橋	

- (3) 9:00 仮本部(9/12集合場所) 牧野会長挨拶、岩本委員長作業確認及び注意
 10:00 休憩(20分)
 11:00 作業終了 トラックに竹材積み込み他
 11:30 終了 市橋挨拶、解散
2. 1年間ワーク実施日(毎月第2土曜日・雨天決行)
3. 作業内容
- (1) 竹材の伐竹と搬出
 9月~12月迄の竹材は高野が使用する
 1月~8月迄は竹炭用とするためトラックにて搬出
- (2) 草刈の場所
 入口に駐車場を確保し、真ん中に多目的広場を作る。道具は保管用の簡易倉庫を設置する(松本)。
- (3) 道路・階段・イベントの場所作り・不良材の焼却穴作り
- (4) 子供達の作業指導と地域環境ブック作成(高野)
- (5) 他クラブアピールと案内マニュアル作成(高野)

9月役員会議事録 21年9月1日 京都YMCA マナホール 19:00~

報告事項

- 議事録作成者指名の件 塚本勝己
- 8/23(日) 平安徳義会夏祭りについて
400名の参加(来期は商品を有料にするか検討) 参加される方は昼から参加を希望したい
- 9/6(日) リトセン秋の準備ワークについて
バンガロー清掃ウエストから6名が参加・掃除道具が不十分。来年6月の昼食の件はまだ未定
- 9/12(土) 西山竹林整備の初ワークについて
賃貸契約完了・全員が一度参加お願いします。今回参加予定8名松本ワイズより高野ワイズの思いを聞く
- 9/13(日) 京都部会の出欠状況について
集合時間は1時20分 2Fロビー
メン23名メネット2名 合計25名
- 9/13(日) 京都部会のサポートについて
当日連絡事項は市橋書記が担当する
- 9月26~9月27日 EMC一泊例会「朝までワイズを語る会」の出欠について 出席者22名
- サバエキャンプ場見学会について
10月17日に一度見に行く(協議中です)
- 他クラブ訪問企画について
9月23日トゥービクラブEMC例会、参加の方は市橋書記まで連絡。(一人5000円の予算)
- 次々期京都部部長立候補告示について
立候補者がなければ、みやびクラブから選出
- 12/19(土) クリスマス例会の会場について
会場はしょうざん・100名程。企画EMCとドライバー
- 30周年PT進捗状況について
8月31日に部門別のリーダーで話をした。京都部会でのアピール。パンフレットを一人一人手渡しする
- SO京都に団体会費として、予算通り10000円拠出
- 各事業委員長からの報告(委員会の開催状況他)

協議事項

- 前回議事録承認の件 牧野会長
- 9/24(木) メネット例会について
司会は野田メネット・会費は予算から出す
- 9/26,27(土・日) 朝までワイズを語る会の費用
泊まり代合わせ10000円を委員会より支出
- 10/17(土曜日) ポテトファンドについて
AM8時に集合、食事代はファンド委員より出す
- ポテト配送方法について
業者に委託するか?(最終メンバー内で配送したい方を募る) 一つ500円程度
- 10/22(木) 10月例会について
テーブルマナー講座を考えている。場所はホテルフジタ。フルコースを食べるので7000円程度必要
- トライアングル30周年記念ゴルフコンペについて
一日観光を考える
- 京都Yわんぱくチャレンジキッズ・クラブリーダー支援について
映画「ぼくはうみがみたくなりました」の上映を支援

決議事項

- 議案1 西日本区役員、京都部役員の活動費補助について
西日本区は10万円・京都部役員は3万円 承認

10月例会案内

安平知史

前回の「環境にecoとしよう!究極のエコバッグ!風呂敷講座」に引き続き「学び」の第二弾企画として、10月例会はホテルフジタにて「目からウロコ!大人のテーブルマナー講座」を開催致します。

皆さんは、社会的にも立派な経営者ばかりです。

皆さん!テーブルマナーは完璧ですか?もちろん自信满满だと思いますが、もしかしてこれで合っていると思っていた事が実は大間違い…って事もあるかもしれません。

知らず知らずに実は大恥をかいているかも?そんな皆さんを我らドライバー委員会が救済いたします。

フジタホテルでワインを嗜みフルコースを堪能しながらホテルマンを講師に、じっくりと学んで頂き、楽しく

10月例会を開催したいと考えております。

是非とも、多数のご参加、宜しくお願いします!

会長メッセージ

爽やかな秋晴れの続く季節となりました。9月の行事も多くのメンバーにご参加いただきありがとうございました。

京都部会では皆で同じユニフォームを着て部会のお手伝い、30周年のアピールをした事で、よりメンバーの連帯感も深まり、また他クラブのメンバーとの交流も進んだのではないかと思います。またEMC一泊研修会では、30周年についての色々な意見交換が行なわれ、皆でワクワクした気持ちで準備に取り組みそうですね。10月からはポテトワーク、ワイズデー、街頭募金と、奉仕に関連する事業が続きます。是非この機会に、日頃の親睦通じて得たエネルギーを奉仕活動に活かしてみませんか?

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

YMCA NEWS

YMCAならびにワイズメンズクラブの活動は、一人ひとりの「心」も「からだ」も、そして「魂」をも含んだ「生命・いのち」の大切さと、それぞれの命には差がないことを伝えることが使命であると、最近の社会の様々な事象を通じて考えさせられます。

YMCAの今秋の活動も、青少年活動をはじめ様々なプログラムが行われます。一人でも多くの方々にご参加いただき、皆さんと共に伝えることができればと願っています。総主事 神 崎 清 一

1. 京都YMCA国際協力キャンペーン

今年も10月1日～11月末の期間を京都YMCA国際協力キャンペーンとして国際協力募金を行います。

国際協力街頭募金協力をお願い

日 時 2009年11月1日(日) 13:00～15:00

13:00～15:00 各募金場所に現地集合街頭募金

16:00 募金集計終了後、解散(京都YMCA三条本館)

2. 第16回日本YMCA大会のお知らせ

今年の日本YMCA大会は、YMCAに関わる人々(すべての世代! 目標200名?)の参加を願って行います。

日 程: 2009年10月30日(金)～11月1日(日)

テーマ: 昨日、今日、明日! 「つなげようYMCAの願い」

場 所: 日本YMCA同盟 国際青少年センター東山荘

対 象: YMCAに関わる全ての方

参加費: 26,000円(2泊3日、宿泊・食費・資料代他含む)

3. ウィンタープログラム受付開始

<スキーキャンプ・デイキャンプ>

受 付 ◎会員優先 11月5日(木)～9日(月)

午前10時～午後6時 お電話にて受け付けます。

電話(075)231-4388

期間中Eメール・FAXでも受け付けます。(24時間)

E-mail campmoushikomi@kyotoymca.or.jp

FAX (075)251-0970

<鉄棒・とびばこが好きな教室> 会員優先受付

受付 ◎会 員 11月11日(水) 午前10時より

◎会員・一般 11月11日(水) 午後2時より

4. 英会話 秋期募集のお知らせ

●中学生英会話・高校生英会話 後期編入生募集

中学生英会話 2009年10月15日(木)～2010年3月12日(金)

高校生英会話 2009年10月16日(金)～2010年3月12日(金)

幼児〔年中・年長〕・小学生クラス有り

●成人英会話 秋期新入生募集

○スタンダードコース2009年10月5日～2010年3月18日

○スキルアップコース2009年10月16日～2010年3月5日

○通訳基礎・同時通訳コース 2009年10月17日～2010年3月13日

○プライベート&スペシャルプライベートレッスン 随時受付中

他ビジネス英語講座・英検二次面接対策講座クラス有り

5. リトリートセンターオータムフェスタ

日 時 11月15日(日)

場 所 京都YMCAリトリートセンター

入場料 チケットをお求めください。

6. ボランティアセミナーのご案内

1. 『死と向き合って生きる 自らのがん体験をふまえて』

講 師 細井 順 氏 ヴォーリス記念病院 ホスピス長

日 時 2009年10月24日(土)午後6時30分～8時30分

2. がん患者さんとそのご家族へ 第33回苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

日 時 2009年10月17日 午後7時～9時

場 所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円(お茶代等)

1.2ともお申込は京都YMCA (075)231-4388

またはvb@kyotoymca.or.jp

10月スケジュール

10/6	(火)	三 役 会	19:30	三条YMCA
10/8	(木)	オプン役員会例会	19:00	三条YMCA
10/10	(土)	竹林ワーク	9:00～	長岡京市
10/18	(日)	ポテトファント	後報	梅小路
10/22	(日)	通常例会(部長公式訪問)	19:00	ホテルフジタ
10/27	(火)	三 役 会	19:30	三条YMCA

11月スケジュール

11/1	(日)	ワイズデー2000	10:00～	ひとまち交流館
11/12	(木)	オプン役員会例会	19:00	三条YMCA
11/26	(木)	通常例会 部長訪問	19:00	リーガロイヤル
		みやこふれあいまつり	後報	

れんらく

11月1日YMCA国際協力街頭募金には平安徳義会の先生方や子供達も参加してくれます。

皆で募金活動を行いましょう。

Happy Birthday&Anniversary

10月

誕 生 日

6日 鈴木けい子

10日 立山 益子

30日 塚本 由美

結 婚 記 念 日

6日 胡内 順一・佳志子

10日 加藤秀幸・晶実

10日 松本忠正・純子

20日 高野忠男



編集後記

◇報告記事の多い中で「ワイズ必携とワイズ読本への寄稿文はメンバー一人ひとりのワイズへの思いや課題が浮きぼりにされる貴重な読み物として定着しようとしています。これを機会に必携や読本を学習していただき、ワイズやYMCAの理解を深めて奉仕の実践に努めましょう!

◇一方、竹林ワークも順調にスタートしたようです。この環境問題の取り組みもまた、ウエストが、情熱をこめた異色のCS事業として育てたいものです。

(編集室)